



PRESS RELEASE

令和7年12月19日
取手市立取手西小学校

児童が考案した CO₂ 検知ロボ「だっちー」が 大学生の協力で現物として完成

本校では、総合的な学習の時間において、「脱炭素チャレンジ」に取り組んでいます。この学習を進めるにあたり、東京都市大学杉浦正吾教授をはじめ、大学生の皆さん、プラチナマイスターの常野様、三井物産株式会社様など多くのご協力をいただけてきました。このたび、児童たちが脱炭素チャレンジの一環として考案したマスコットキャラクター「だっちー」が、大学生の技術と支援により立体化され、現物として完成しました。完成した「だっちー」(CO₂を検知すると光ります)は児童に寄贈され、今後の学習や発信活動に活用される予定です。

■本校の取り組み

本校では「脱炭素チャレンジ」の一環として、児童が主体となり持続可能な社会づくりに向けた多面的な活動を展開しています。学習では、「サス」学羅針盤を活用し、環境課題の整理や解決策のアイデア創出に取り組んでいます。こうした探究活動を基に、給食残渣を再利用した肥料による植物の栽培、ペットボトルキャップの回収によるワクチン支援、使用しなくなった子供服の回収と寄付など、脱炭素と社会貢献を両立した実践活動を行っています。これらの活動は、児童の主体性を高めるとともに、様々な機関と連携した環境教育の推進に寄与しています。

■「だっちー」について

「だっちー」は、児童(現6年生)が4年生の時に脱炭素チャレンジのマスコットキャラクターとして考案したものです。名称は「脱炭素チャレンジ」の頭文字に由来します。児童は当初、「脱炭素への取組を大きな瞳で見守り、行動に応じて光るキャラクター」をイメージしていました。今回、東京都市大学の学生がその思いを受けて製作したロボット版「だっちー」には、二酸化炭素を検知すると光る機能が搭載されています。この機能を生かしたさらなる取り組みの発展が期待されるところです。

■予定

- (1) 日時 令和7年12月23日(火) 10時30分～10時45分
- (2) 会場 取手市立取手西小学校(取手市稲70番地) 6年1組教室
- (3) 内容
 - ・東京都市大学杉浦教授から児童アイデア具現化について説明
 - ・製作した学生からの説明
 - ・実際に児童が「だっちー」に触れる



■本校活動歴

- 2022年 総合的な学習の時間にサステナブル学習の一環として脱炭素チャレンジに取り組み始める
- 2023年 脱炭素チャレンジカップ(ジュニア・キッズ部門)において「環境大臣賞」を受賞
受賞報告のため県知事を表敬訪問する
脱炭素チャレンジ広場にカーボンオフセットの木を植樹する



- 2024 年 脱炭素チャレンジカップ（ジュニア・キッズ部門）において SOMPO 環境財団様から「最優秀わくわく未来賞」を受賞する
受賞報告のため県知事を表敬訪問する
- 2025 年 ジャパンバードフェスティバルにおいて脱炭素への取り組みを児童が発表する

問い合わせ先	取手市立取手西小学校 担当者：安養寺 史也 電話：0297-74-3138（内線3081） E-mail：anyouji.fumiya@yellow.ibk.ed.jp
--------	---